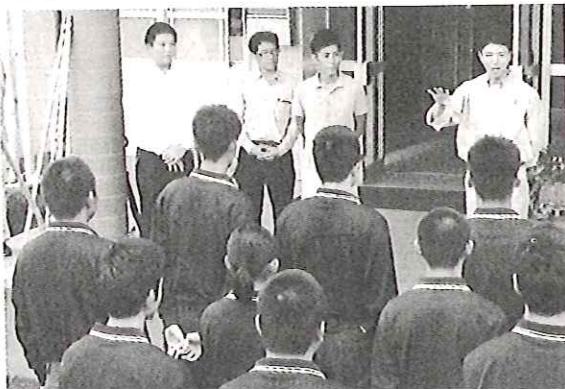


県測量設計業協会（安永幸信会長）は22日、阿久根市の鶴翔高校で第3回出前講座を開いた。実

鶴翔高で出前講座

実技で魅力伝える



指導を受ける生徒たち＝阿久根市の鶴翔高校で

を競うデモンストレーションのほか、6班に分かれて水準測量を実施。青年部員らの指導を受けるながら、生

技を交えながら測量の魅力を伝え、参加した総合学科環境緑地系列の2年生17人は興味を示していた。

技を交えながら測量の魅力を伝え、参加した総合学科環境緑地系列の2年生17人は興味を示してい
た。出前講座は、測量技術の魅力と担い手（若手）

育成の一環として、同協会青年部が中心になつて、2017年度にスタート。冒頭、上野龍哉氏（新日本技術コンサルタント）が「実践を踏んで測量に関心を持つてもらい、仕

徒たちは眞剣な表情で取り組んだ。
研修室で行われた後半は、これまで学んできた

として、同協度にスタート。龍哉氏（新日ソサルタンント）が踏んで測量してもらい、仕事を選択する上での指標としてもらいたい」と挨拶した。

徒たちは真剣な表情で取り組んだ。
研修室で行われた後半は、これまで学んできた工業用ドローンを使った測量や、電子平板測量の成果の対比、今回実施した水準測量の概要などを青年部員が説明。生徒たちは青年部員らの説明に対し熱心に聞き入ってい